

行事名	第7学年「よのなか教室②」＝思いを行動に!!＝ ～“職業人”として必要なスキル①～		分類・時数	総合的な学習の時間 2時間（14:00～16:00）
期日	平成27年12月1日（火）（5～6）校時		場 所	7年教室
参加生徒	第7学年（130名）		担当職員	※4名
目的	日向市の“職業人”の話を聞くことで、生徒自身が自分の将来の生き方や考え方について考えるきっかけとし、キャリア能力を伸ばす。 ○ 中学校での学習の大切さを知り、学習意欲を高めさせる。 ○ 地域の企業の仕事内容を知り、日向のよさや郷土について理解させる。 ○ 望ましい勤労観や社会人として必要な力を学び、職業人としてのスキルについて理解させる。			
事前	○ 生徒アンケートをとり、分科会の受講生徒人数を均等に振り分ける。（2講座受講） ○ 各学級で聞く態度について指導する。			
実施内容	分科会※40分×2講座（①14:00～14:40 ②14:50～15:30 ※15:30～感想記入）			
	分科会講演者	会場	会場責任者	留意点
	（株）池上鉄工所 Ⅰ【松田 拓也 様】	1組	佐藤 新原	○ 予鈴で各会場へ ※無言・整然 ○ ファイル、筆記用具、記録用紙 ○ 移動は無言で速やかに行わせる。
	日向工業高校 校長 Ⅱ【藤本 格 様】	2組	黒木 曾根崎	○ 各分科会担当が開始、進行、終了を進める。 必要であれば指名して質問させる。
	日向病院 主任看護師 Ⅲ【柳田 美行 様】	3組	中島（濱田） 濱田	○ 各分科会場で開始する。 ○ 代表生徒にお礼の言葉、教室参加者全員のお礼で締めくくる。
事後	すずめの会 Ⅳ【塩月 育代 様】	4組	長友 小路	○ 分科会後、講師の皆さんを校長室へ案内する。【各会場責任者】
	○ 記録用紙の保管を徹底する。 ○ 第3回（1月中旬～下旬）の準備			
備考	○ 当日までの連絡調整【中島】 ○ 講師等の湯茶準備【曾根崎】 ○ 講師との打合せ【中島】 ○ 駐車場準備【濱田】 ○ プロジェクター等【小路（各担当）】 ○ 記録用紙準備【長友】 ○ 記録撮影【各担当】 ○ 講師案内…校長室から分科会場【生徒：Ⅰ甲斐 Ⅱ甲斐 Ⅲ谷口 Ⅳ園田】 ○ お礼の言葉【①生徒：Ⅰ吉村 Ⅱ松葉 Ⅲ大平 Ⅳ葉上】 【②生徒：Ⅰ伊井野 Ⅱ岡田 Ⅲ小林 Ⅳ佐藤】			

☆ 分科会内容について（講話・ワークショップ等時間30分・質疑応答10分）

- ① 現在の仕事に就くまでの経験（中学校から）・・・人生観
- ② 具体的な仕事の内容や仕事の喜び、苦勞・・・勤労観
- ③ 仕事に必要な力（社会人として身に付けておくべきこと・仕事に必要な資格など）

・・・中学生に望むこと

※1月26日（火）も、同様に行う予定です。この場合は各担当を決めますので、講師との打合せをお願いします。

7年（ ）組（ ）番 氏名（ ）

第1回目のよのなか教室では3名の先生方のお話を真剣に、興味をもって聞いてくれたこと、みなさんに心から感謝します。耳と心を傾けて聞くことを『傾聴』と言います。これからも日常的に意識していくと、もっともっと「スーパー素直な学年」になっていくと思いますよ。一緒にチームづくりをしていきましょう。

さて、12月1日に第2回目のよのなか教室を計画しています。今度は、4つの分野の講師の先生方に来ていただき、2つの講座を受講します。ここでは幅広い視点で物事を考え『傾聴』していく時間にしたいと考えています。

そこで、皆さんへの受講希望調査をとります。以下のことをジックリ考えて、第2回の受講講座を希望しましょう。

人生は人に左右されるものではない。

自分自身の考えと実行力で切り拓いていくものだ！

友だちと相談はしません。自分自身の人生、生き方、将来と照らし合わせて、アンケートに答えてください。

 1 次産業 (農林水産業) 生産・収穫			 2 次産業 (工業) 加工・商品化			 3 次産業 (商業) 販売・流通		
【産業の分類】								
① 1次産業（生産・収穫） 自然を相手にする産業。農業、林業、水産業など産業の基礎になるものを作り出す仕事を担う。								
② 2次産業（加工・商品化） 製造業、建築業など、いわゆる「ものづくり」。1次産業で生産されたものを形にする仕事を担う。								
③ 3次産業（販売・流通） 1次、2次の過程を経てできあがった商品（技術）を、消費者（お客様）に提供する仕事を担う。サービス業、販売業、観光業、公務員、医療・福祉などがこれにあたる。								

【希望アンケート】 右枠に希望順位を第3希望まで「1」「2」と記入する。

※人数の調整をするため、若干の移動があります。

※いずれかの分科会で、講師が2人になることもあります。

1 次産業	
2 次産業	

3 次産業

第7学年「よのなか教室②」 分科会アンケート用紙（2）

7 年（ ） 組（ ） 番 氏名（ ）

以前、「よのなか教室」における『産業別の希望調査』を行ったことを覚えていますか？

① 1 次産業（生産・収穫）

自然を相手にする産業。農業、林業、水産業など産業の基礎になるものを作り出す仕事を担う。

② 2 次産業（加工・商品化）

製造業、建築業など、いわゆる「ものづくり」。1 次産業で生産されたものを形にする仕事を担う。

③ 3 次産業（販売・流通）

1 次、2 次の過程を経てできあがった商品（技術）を、消費者（お客様）に提供する仕事を担う。
サービス業、販売業、観光業、公務員、医療・福祉など

様々な講師にお願いをしましたが、残念ながら 1 次産業を担う講師の先生が見つかりませんでした。
皆さんには迷惑をかけてしまいますが、再度、アンケートをとらせてください。

今回は 2 次産業（製造業 1 講座）、3 次産業（教育関係、医療系各 1 講座）、その他（福祉関係 1 講座）の講師の先生方をお招きすることになりました。

受講講座を第 4 希望まで記入しましょう。

友だちと相談はしません。自分自身の人生、生き方、将来と照らし合わせて、アンケートに答えてください。

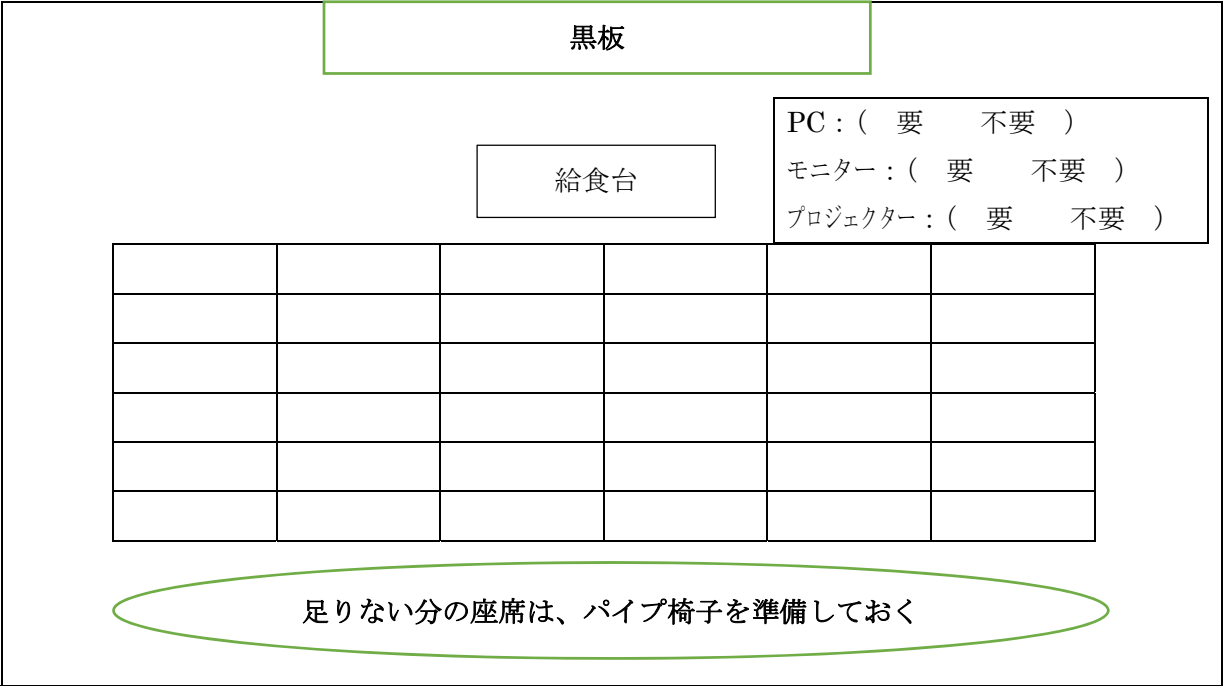
【希望アンケート】右枠に希望順位を第 4 希望まで「1」「2」「3」「4」と記入する。

※人数の調整をするため、若干の移動があります。

2 次産業（製造業）	
3 次産業（教育関係）	
3 次産業（医療関係）	
その他（福祉関係）	

※その他（福祉関係）では、ご病気により健康にハンデを負われた講師の先生が来られる予定です。福祉関係に関心があり、『人のために、何かの形で心から仕事をしていくことの大切さ』について、実体験等を含めてお話ししていただきます。

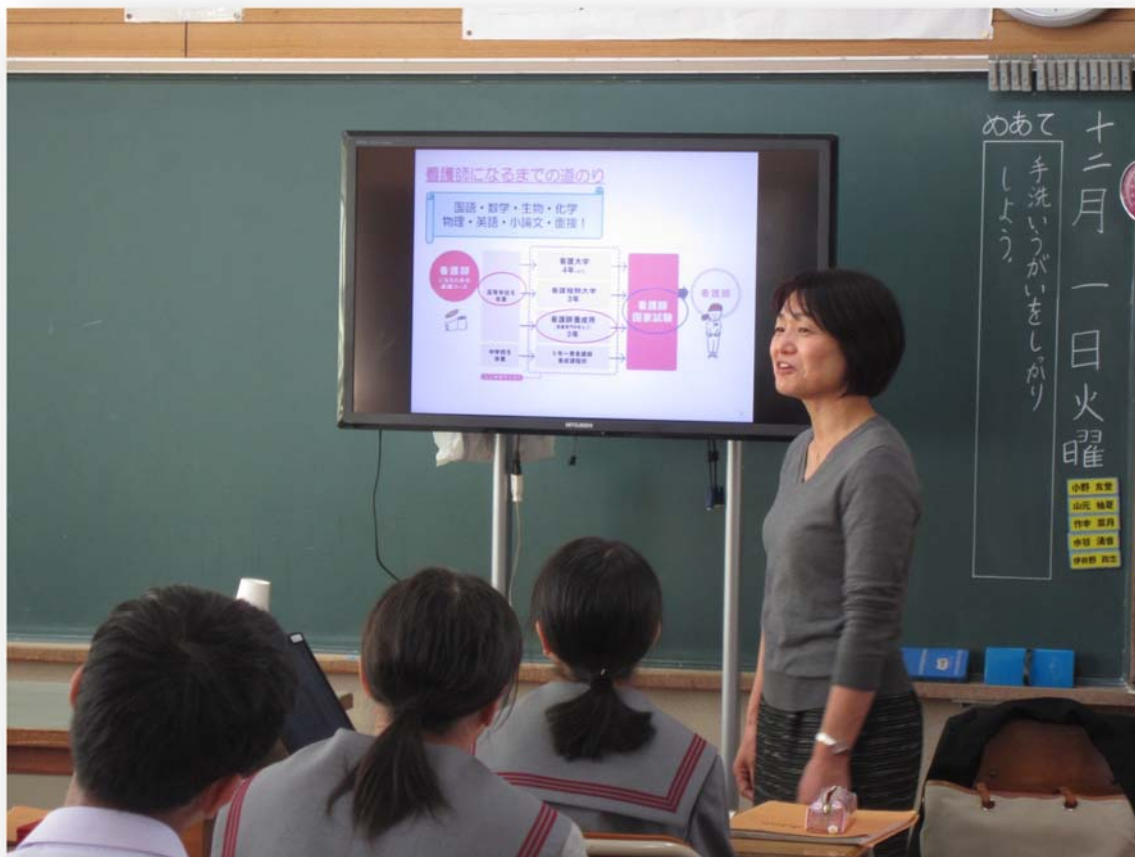
12/1（火）第2回よのなか教室会場図（ ）組



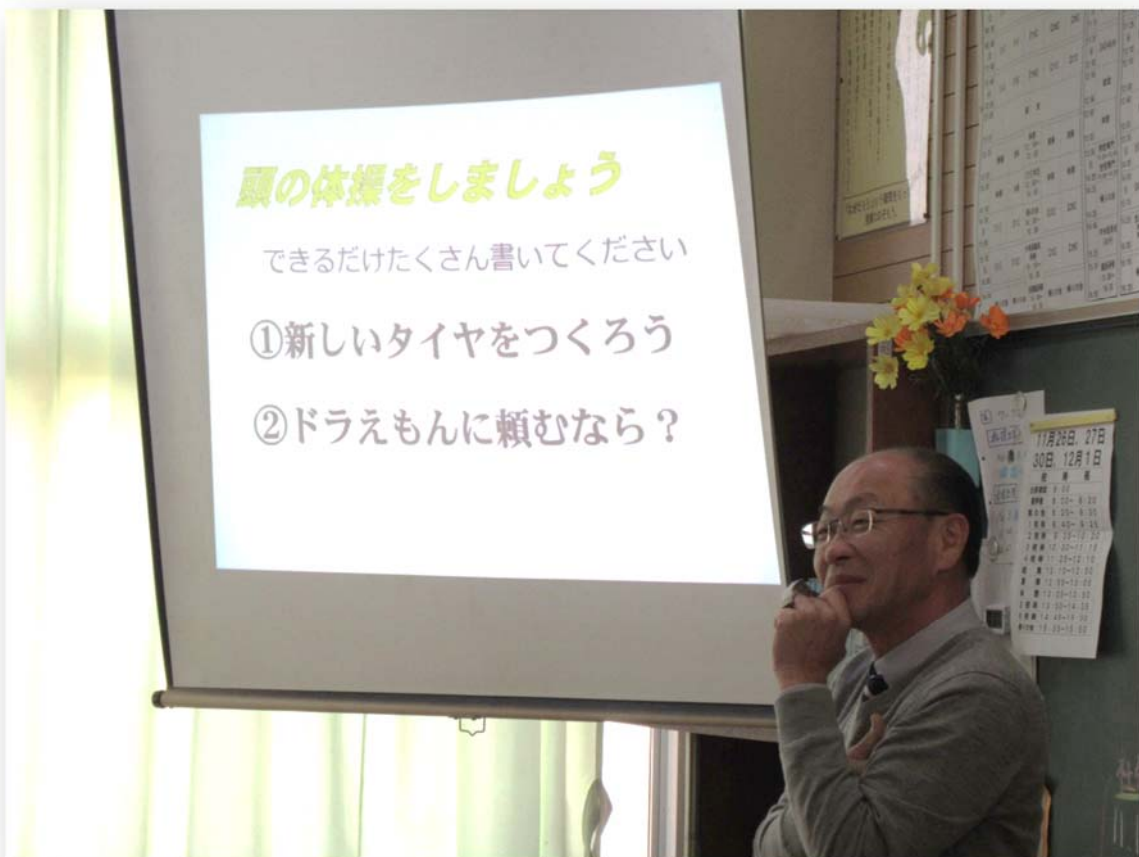
分科会講演者	会場	会場責任者		準備
		前半	後半	
(株)池上鉄工所 Ⅰ【松田 拓也 様】 ※プロジェクター・模造紙？	1組	佐藤	新原	・ある程度理解できている高校生に話す内容になるかもしれない ・PCは持ち込み ・「下町ロケット」と通じる内容もある
日向工業高校 校長 Ⅱ【藤本 格 様】 ※PC・プロジェクター・模造紙？	2組	黒木	曾根崎	・しっかりとメモしながら聞く場面がある ・積極的に発言してほしい ・モニター（プロジェクター）は準備してほしい（USBは持ち込み） ・求人現状なども話してくださるとのこと
日向病院 主任看護師 Ⅲ【柳田 美行 様】 ※PC・モニター（TV）	3組	中島 （濱田）	濱田	・専門的な用語があるが、できるだけ噛み砕いて話してくださること ・PC・モニター（プロジェクター）は準備してほしい（USBは持ち込み）
すずめの会 Ⅳ【塩月 育代 様】 ※拡大機・モニターがあるとよい	4組	長友	小路	・講師の知人が数名来校する予定 ・準備物は特に必要ない（職員室から絵手紙のパネルを持って行く。講師がスケッチブックなどを持ってくるため、拡大機とモニターがあるとよい。 <u>映し方のサポートをお願いします。</u> ） ☆言葉をなかなか思い出せない場面もあるため、会場責任者が分かる範囲でサポートすることが必要













第7学年 「よのなか教室」～思いを行動に!!～

『地域人に学ぶ“働く意義”』職員評価（H27.12.1 実施）

講師：松田 拓也様（株式会社 池上鉄工所）

藤本 格様（日向工業高校 校長）

柳田 美行様（日向病院 主任看護師）

塩月 育代様（すずめの会）

1. 計画や当日までの動き

- ・打合せ、ありがとうございます。
- ・担当者にたくさん足を運んでいただいたと思います。ありがとうございました。
- ・計画は全てしていただいたので、すみません、ありがとうございました。役割分担をしていただいたので、準備などの動きもスムーズにできました。
- ・グループ分け、小路先生ありがとうございました。
- ・打合書の段階で、学校側のねらいをよく理解してくださっていたので、しっかりと伝えてくださっていたと思います。

2. 内容について

- ・難しい話もありましたが、とても良かったです。
- ・一つの内容しか見ていませんが、子どもたちに刺激になったと思います。
- ・話し方や視覚的な工夫がされてあって、話の内容がしっかりと子どもたちの中に残っているようでした。良かったと思います。
- ・全ての話を聞いたわけではないが、映像を使ったりゲーム、クイズなどを取り入れ、中学1年生が飽きない工夫がされていた。
- ・生徒へのメッセージを、あつく語って下さった。よかった。
- ・4分科会ともに、ゲームを行ったり、視覚的な資料を用いて生徒たちの興味をひく工夫をされた、分かりやすい内容でした。
- ・どの分科会も、生徒に分かりやすいプレゼンを作っておき、皆さんお話も上手で、大変よいようだったと思います。時間設定も良かったと思います。

3. 当日の動きについて

- ・パソコンとの接触か何かが悪かったのか、映りが悪く、急遽プロジェクターからモニターに変更して、少しバタバタしましたが、問題はありませんでした。
- ・スムーズにいったと思います。
- ・各教室での実施でしたが、移動もスムーズにできていたと思います。
- ・自分の担当が昼休みに重なり、バタバタしてしまいました。計画性がなくてすみません。また、プロジェクターを急遽モニターにするなど、自分の準備不足を感じました。
- ・生徒のお礼の言葉など、しっかり言えていた。やりたいと言って選んだ生徒だけあって、さすがでした。

時間も移動も、ちょうど良かった。

- ・早く終わった分科会もありましたが、ほんの2～3分の差だったので、他が終わるまで待たせて一斉に移動させたほうが良かった。

- ・分科会場によっては、生徒用の机が数名分なく、あわてて廊下からもって入りました。事前に机の数と生徒数を確認して準備しておくべきでした。

4. 事後の活動について

- ・良かったと思います。
- ・終わったあとに感想を書かせるのは良かったと思います。
- ・感想をチェックしましたが、簡単な感じもひらがなで書いている生徒が多く、今のうちからしっかり書かせる訓練が必要だと思いました。
- ・その日のうちに感想を書くということで良いと思います。ただ、時間の確保が難しい。今回は短縮だったため、他学年と大幅にずれてしまった。
- ・お礼女王も比較的しっかり書いていた。よくメモをとる姿も見られた。
- ・短縮だったので、感想文を書かせても16:30ころには、下校できた。やはり当日書かせたほうが、記憶も新しく、特に自分が心に残った言葉などをしっかり書けた生徒も多い気がした。当日でOK。

5. その他

- ・話を聞く時間などもちょうどよいと感じました。
- ・プロジェクターの東映がうまくいかずに慌てた。やはり、体育館と教室では、光やスクリーンまでの距離など条件が違うので、前日に一度試しておくべきだったと反省。